

[私信]

これまで何回か母校周年事業にかかわり、皆様からいつも大変なご尽力ご助力をいただいた同窓会役員の端役を担当したものとして胸にせまるのは、ただただ皆様への万謝の思いです。

八十路へとかかり幾星霜長い道のりを歩み、人生の諸般諸事を経験してまいり、さまざまな感慨をもちますが、山紫会の皆様との関係で言えば、友愛の一語に収れんされて行きます。

春秋長じて残り少ない私たちですが、甲府一高時代に学んだ「徒然草」(九十三段)の「存命の喜び、日々に楽しまざらんや」の知慮と母校の「日々に新たに」の校是を学び直し、健康には留意して天命を楽しもうではありませんか。

コロナ禍が収まって山紫会で再会、懇親のできる日が一刻も早く来ることを切に願っております。ほんとうにありがとうございました。

(大西 記)

拝啓 山紫会の皆様にはご健勝のことと拝察いたします。

御案内のとおり、昨年10月23日母校甲府一高は、創立140周年を迎えました。母校の発展に資する記念事業の実施のため、母校職員、PTA、同窓会による記念事業協賛会が組織され、協賛金を募りましたが、厳しい経済状況に加えてコロナ禍猖獗の悪条件にもかかわらず、目標額を大きく上回る成果を得、記念事業のすべてを達成することができました。とくに昭和34年卒の山紫会は報告書に示されているように募金人数、募金額ともに目標を大幅に上回る貢献をいたしました。「山紫会老いたりといえども意気なお軒昂なり」を示すことができました。皆様のご貢献に心より感謝申し上げます。

望月政男	丸茂紀彦	植原宣紘	跡部寛美	小杉悦子
小野堅太郎	辻 一幸	神津善三郎	土屋初海	中村房江
伊東 昭	原 光正	横森忠紘	中村禮子	古屋みつほ
雨宮 秀	田中邦司	大西 勉	村野久子	渡辺礼子